

オイスカ四国支部 30周年記念式典&トークイベント

# アラル海を緑に! ～沙漠緑化への挑戦～

中央アジアのウズベキスタンにあるアラル海は、かつて世界第4位の面積を誇る湖でした。現在のアラル海は干上がり、沙漠へと姿を変え、水産業で賑わった町の姿はありません。オイスカは、この広大な沙漠の緑化への挑戦を決め、取り組みを進めています。四国支部は今年、30周年を迎えました。そして日本とウズベキスタンは外交関係樹立30周年。両国の友好促進につながるアラル海の緑化プロジェクトについて理解を深めるためプロジェクト担当者を招いたトークイベントを開催します。

日時：2023年6月22日（木）14:00～16:40  
場所：ユープラザうたづ「ハーモニーホール」  
参加費：無料

▶ 懇親会のご案内は裏面にございます



※トークイベントは国土緑化推進機構「水と緑の森林ファンド」を活用して開催します



公益財団法人  
オイスカ

〒761-2103 香川県綾歌郡綾川町陶5179-1  
TEL: (087)876-3333 / FAX: (087)876-3334  
E-mail: shikoku@oisca.org  
公益財団法人オイスカ 四国支部



オイスカ  
ウェブサイト

## 30周年記念式典&トークイベント

会場 ユープラザうたづ「ハーモニーホール」

14:00 30周年記念式典（定員：200名）  
15:00 休憩  
15:20 トークイベント（定員：500名）  
16:40 終了

※懇親会（要事前申し込み）  
参加者は会場へ移動

## 懇親会 ※事前申し込みが必要です

会場 ホテルアネシス瀬戸大橋 3階「平安」

17:30 懇親会（定員：250名）  
19:30 終了

会費 6千円

## 【アクセス】

- ユープラザうたづ  
JR宇多津駅南口より徒歩7分
- ホテルアネシス瀬戸大橋  
JR宇多津駅南口より徒歩1分



## コメンテーター紹介

### 富樫 智 (OISCA College LTD.)



内モンゴルでの植林プロジェクトの経験をもとに、ウズベキスタンでの緑化事業スタートの経緯やプロジェクトの今について語ります。

中国内モンゴルで2001年から沙漠化防止活動を開始し、1,400ha、207万本の緑化を行う。15年からはウズベキスタンでもスタート。地元農業大学と漢方薬の栽培を行いながら、塩害や沙漠化防止の研究を行う。専門は林学、土壌学（農学博士）。千葉大学非常勤講師

### 長 宏行 (公益財団法人オイスカ)



緑化事業全般に携わる立場から、オイスカとしての緑化の姿勢、今後の展望を語ります。

海外事業部 調査研究担当部長  
緑化をはじめとした環境保全事業の責任者。海外におけるマングローブ、海岸林、山の緑化を長年担当。開発学修士

## 参加申込書 申込締切 6月15日（木）

こちらのQRコードからもお申込みいただけます

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/adc0412e781786>



お名前		所属	
部署名		役職	
ご住所			
メールアドレス		電話番号	
参加	<input type="checkbox"/> 30周年式典 <input type="checkbox"/> トークイベント <input type="checkbox"/> 懇親会(6千円)		

FAX送信先 ▶ 087-876-3334

\*いただきました個人情報は、当法人からの各種案内の送付等に使用させていただきます。予めご了承の上、お申し込みください。利用目的の詳細はホームページ (<https://oisca.org/privacy-policy/>) をご確認ください。

